

## 11 番（小川義昭君）

次に、市民に皆さんに対して、マイ・タイムラインの作成を促す啓発推進について述べたいと思います。

マイ・タイムラインとは、住民一人一人がとるべき事前の防災行動計画であります。災害時における個々人の行動は、年齢や健康状態など千差万別であり、一様ではありません。

そこで、逃げおくれることのないよう、それぞれの行動を明確にし、備えておくことが必要ではないでしょうか。

私が提言したいのは、台風や豪雨などの接近によって、河川の水位上昇や土砂崩れなどの災害が起きると予測される時刻に向かって、自分や家族がとる防災行動について、いつ、誰が、何をするかなどを家族内などで時系列的にあらかじめ決めておく個人単位の防災スケジュール表とお考えいただければよろしいでしょう。

自分が住んでいる地域の自然災害時における危険性を住民一人一人が再認識し、それぞれがとるべき避難行動を事前に決めておけば、いざというときには慌てずに逃げることができます。

災害時に最も大切なことは、まず自分の命を守ることです。身の安全の守り方、逃げるための対策意識を日ごろから高めておくためにも、マイ・タイムラインは、市民一人一人の命を守り、逃げおくれゼロを目指す上で大変に有効なツールだと考えます。

平成 29 年 8 月 1 日、能美市防災センターで開催された手取川、梯川などの大規模氾濫に関する減災対策協議会では、確実な避難に向けた取り組みの一環として、住民一人一人のマイ・タイムラインをつくる講習が行われ、白山市など 3 市 1 町の児童を含めて約 90 名が参加されました。

マイ・タイムラインは、時間的な制約が厳しい洪水発生時などに、行動のチェックリストとして、判断のサポートツールとしても活用されることで、逃げおくれゼロに向けた大きな効果が大きいと期待できます。

ちなみに、石川県内では、県の土木部が、「わたしの逃げる計画（マイ・タイムライン）をつくっておこう！」というリーフレットを作成し、マイ・タイムラインづくりを呼びかけており、機運は醸成され始めています。ですから、本市においても、水害の危険、土砂災害の危険、大雪の危険など、あらゆる災害に対応した白山市・マイ・タイムラインのリーフレットを作成し、全戸に配布し、マイ・タイムラインの作成を市民に強く啓発推進すべきかと考えますがいかがでしょうか。市長の見解をお伺いします。